

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈本町地区〉

本町地区について

洪水常襲地区ではありませんが、地区の東部は狩野川の、西部から北部は新中川の洪水浸水想定区域に指定されています。

新中川の影響を受ける北部、狩野川の影響を受ける南部はともに川沿いを含んでおり、河岸浸食のおそれが高い区域に指定されています。

住宅が密集する地区であり、大雨のときは水位の変化に注意が必要です。

1 該当する単位自治会

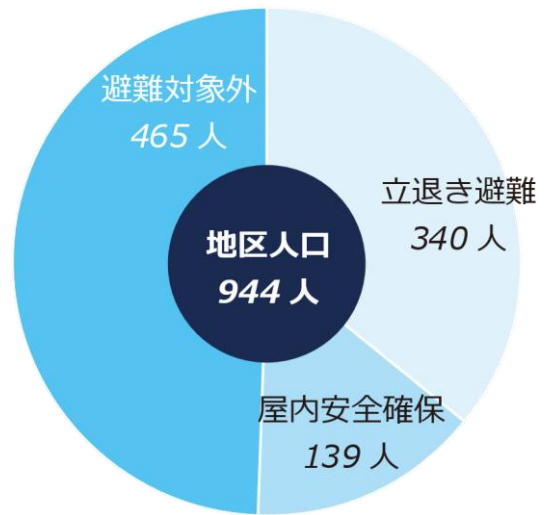
本町一丁目、本町二丁目

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

狩野川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年 10 月台風 19 号
257.5mm (10/11~12 日)
- 令和 3 年 7 月豪雨
294.5mm (7/1~3 日)
- 令和 3 年 9 月豪雨
163.5mm (9/1~2 日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が 340 人、屋内安全確保が 139 人、合計 479 人となっています。本町地区の人口は 944 人のため、約 5 割の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として第一小学校（第一地区センター）を指定しています。市が避難情報を発令したときは、第一小学校を避難場所として開設します。

避難場所	延べ床面積 (㎡)	※収容人数 (人)
第一小学校（第一地区センター）	7,748	1,643

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区東部を狩野川が流れており、水位状況を確認しながら避難の検討を行っていく必要があります。

洪水浸水想定区域における浸水深は0.3~0.5m、浸水想定時間は概ね半日となっています（いずれも想定最大規模）。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称 観測所	警戒レベル	狩野川 徳倉水位	対応
堤防高	5相当	8.4m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない
氾濫危険水位	4相当	7.2m	避難要支援者は避難開始 健全者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する
避難判断水位	3相当	6.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難
氾濫注意水位	2相当	4.0m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備
水防団待機水位		3.0m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け

6 地区別カルテ

避難判断水位到達後に避難行動を開始したとき、氾濫危険水位到達までに避難場所である第一小学校に到着できないこととなりますが、避難行動を開始していれば浸水想定区域外に避難できるため、逃げ遅れとはならないことが示されています（13箇所の結節点すべてが避難可能な青色を示しています。）が、狩野川が避難判断水位に到達している状況下では相当の雨量が予測されるため、早い段階での避難が必要です。

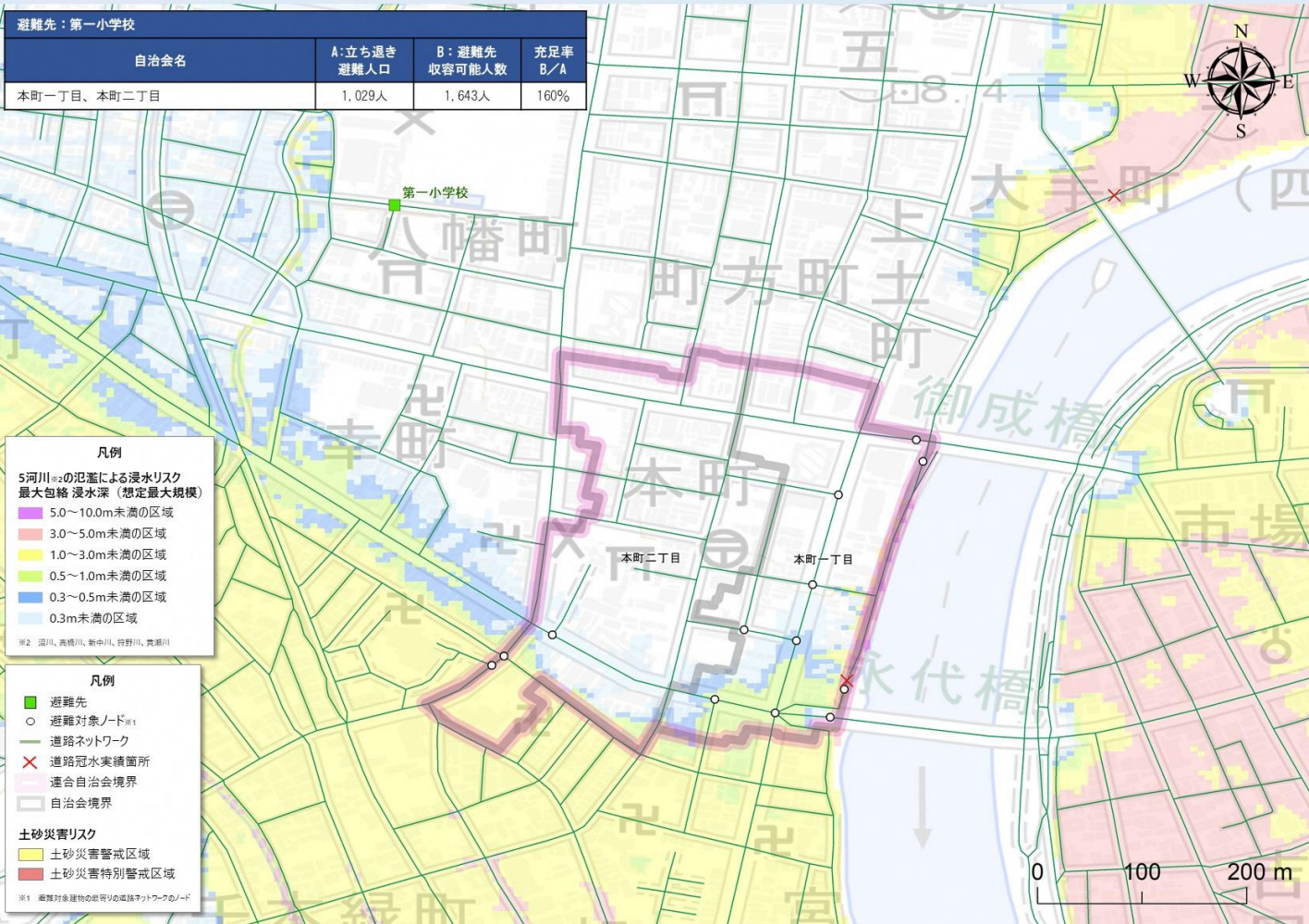
本町地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：第一小学校

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
本町一丁目、本町二丁目	1,029人	1,643人	160%

- 凡例**
- 5河川^{※2}の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）
- 5.0～10.0m未満の区域
 - 3.0～5.0m未満の区域
 - 1.0～3.0m未満の区域
 - 0.5～1.0m未満の区域
 - 0.3～0.5m未満の区域
 - 0.3m未満の区域
- ※2: 沼川、高橋川、新中川、狩野川、貫通川

- 凡例**
- 避難先
 - 避難対象ノード^{※1}
 - 道路ネットワーク
 - 道路冠水実績箇所
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1: 避難対象建物の隣接する道路ネットワークのノード

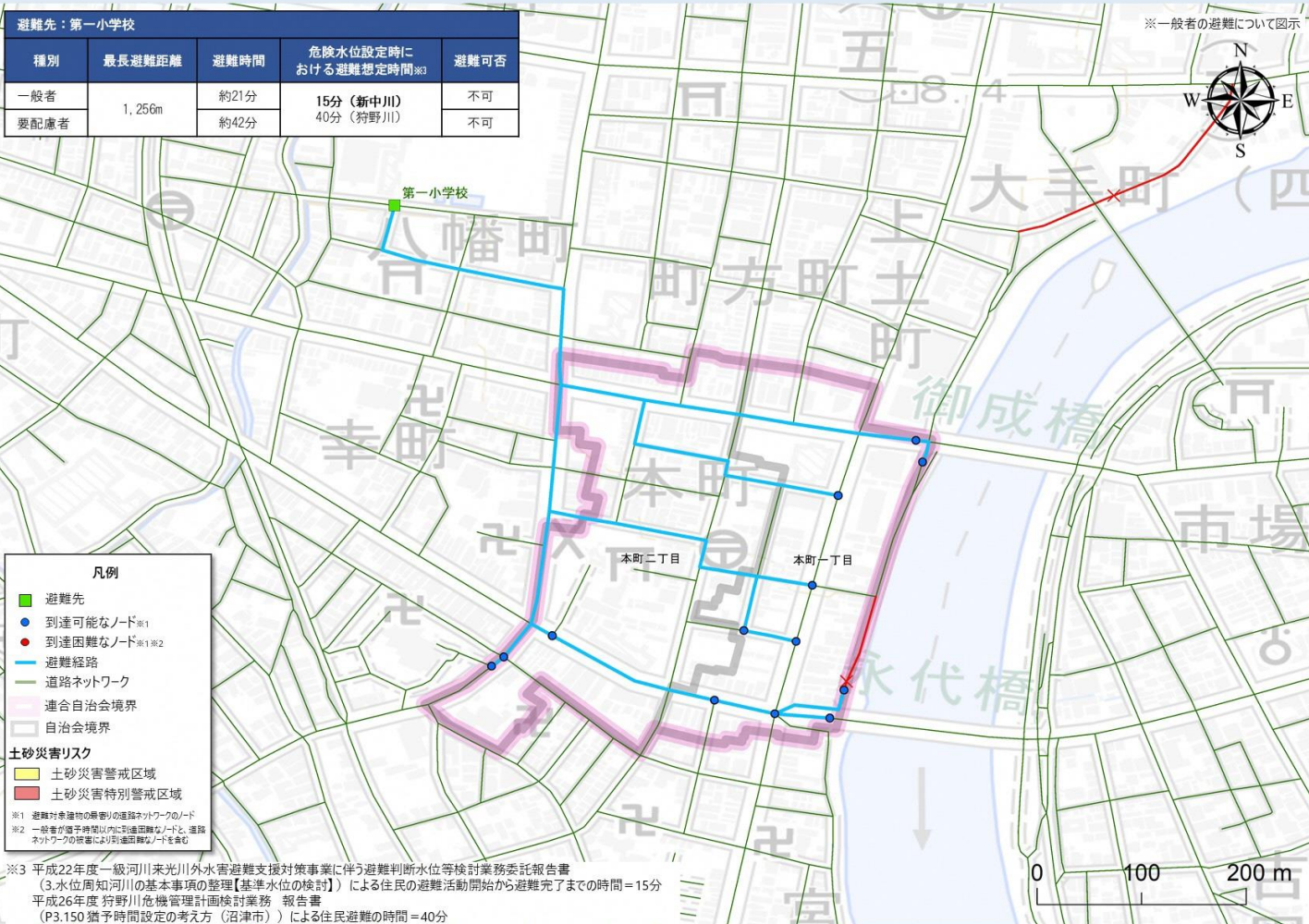


本町地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

避難先：第一小学校

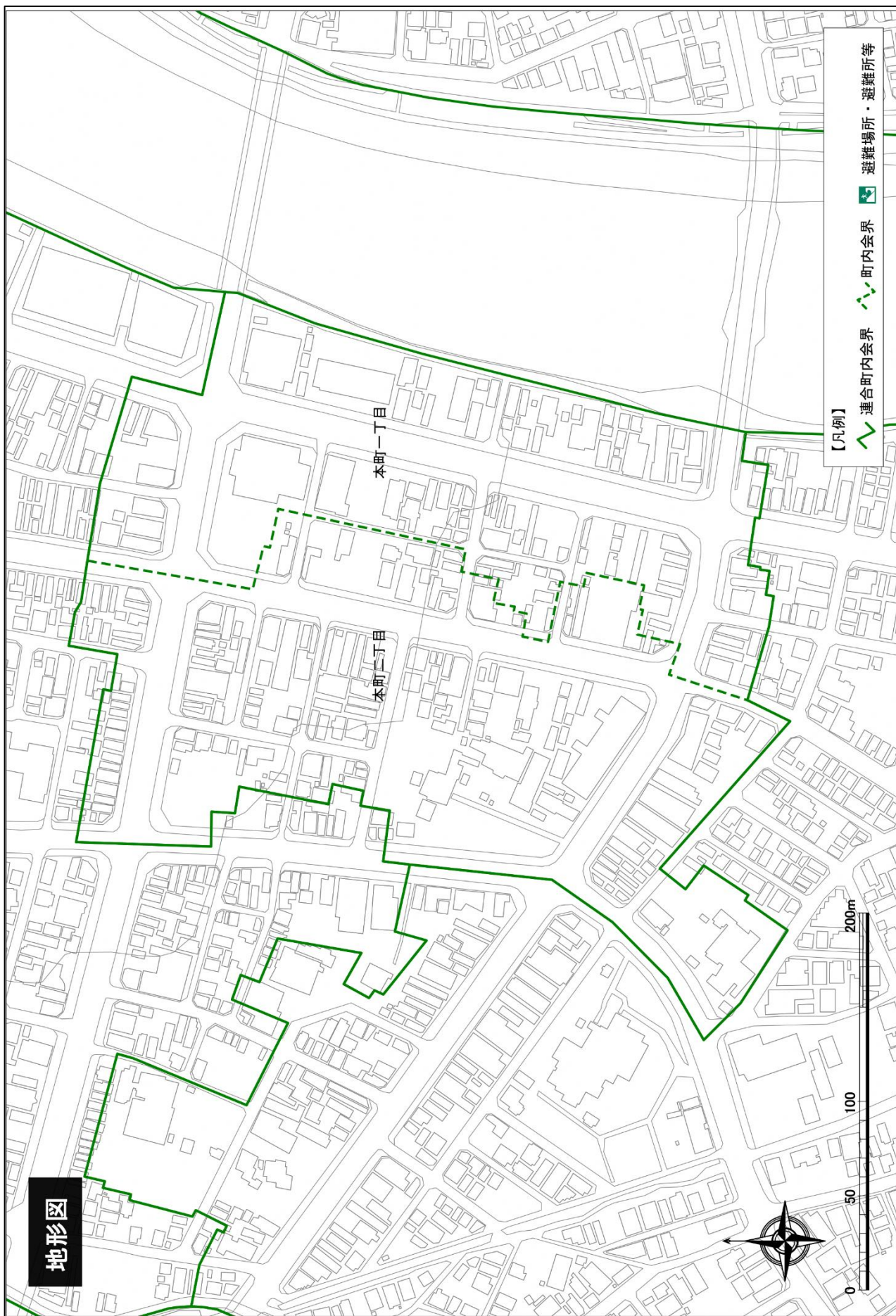
種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間 ^{※3}	避難可否
一般者	1,256m	約21分	15分（新中川） 40分（狩野川）	不可
要配慮者		約42分		不可

- 凡例**
- 避難先
 - 到達可能なノード^{※1}
 - 到達困難なノード^{※1, ※2}
 - 避難経路
 - 道路ネットワーク
 - 連合自治会境界
 - 自治会境界
- 土砂災害リスク**
- 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害特別警戒区域
- ※1: 避難対象建物の隣接する道路ネットワークのノード
※2: 一般者が過す時間以内には到達困難なノードと、道路ネットワークの断絶により到達困難なノードを指す

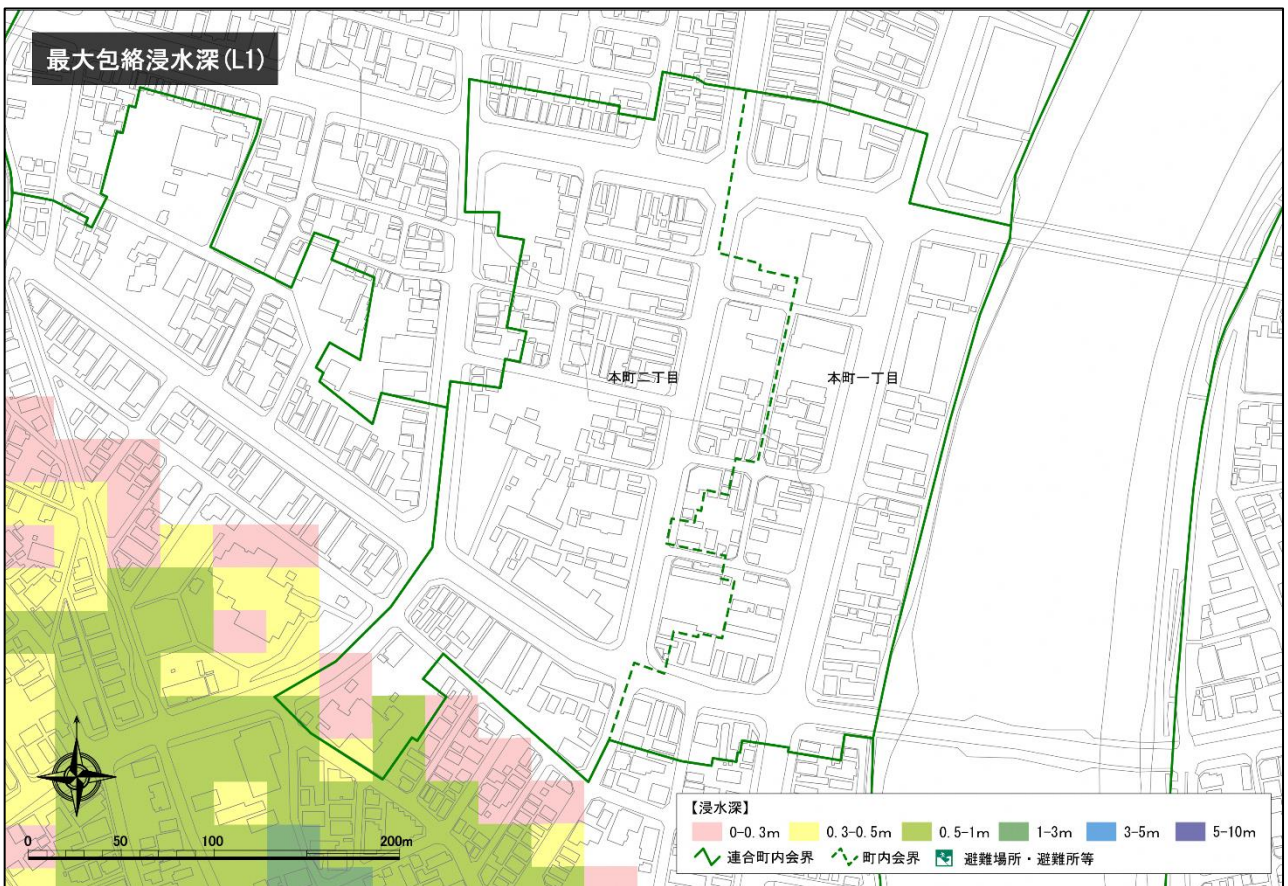
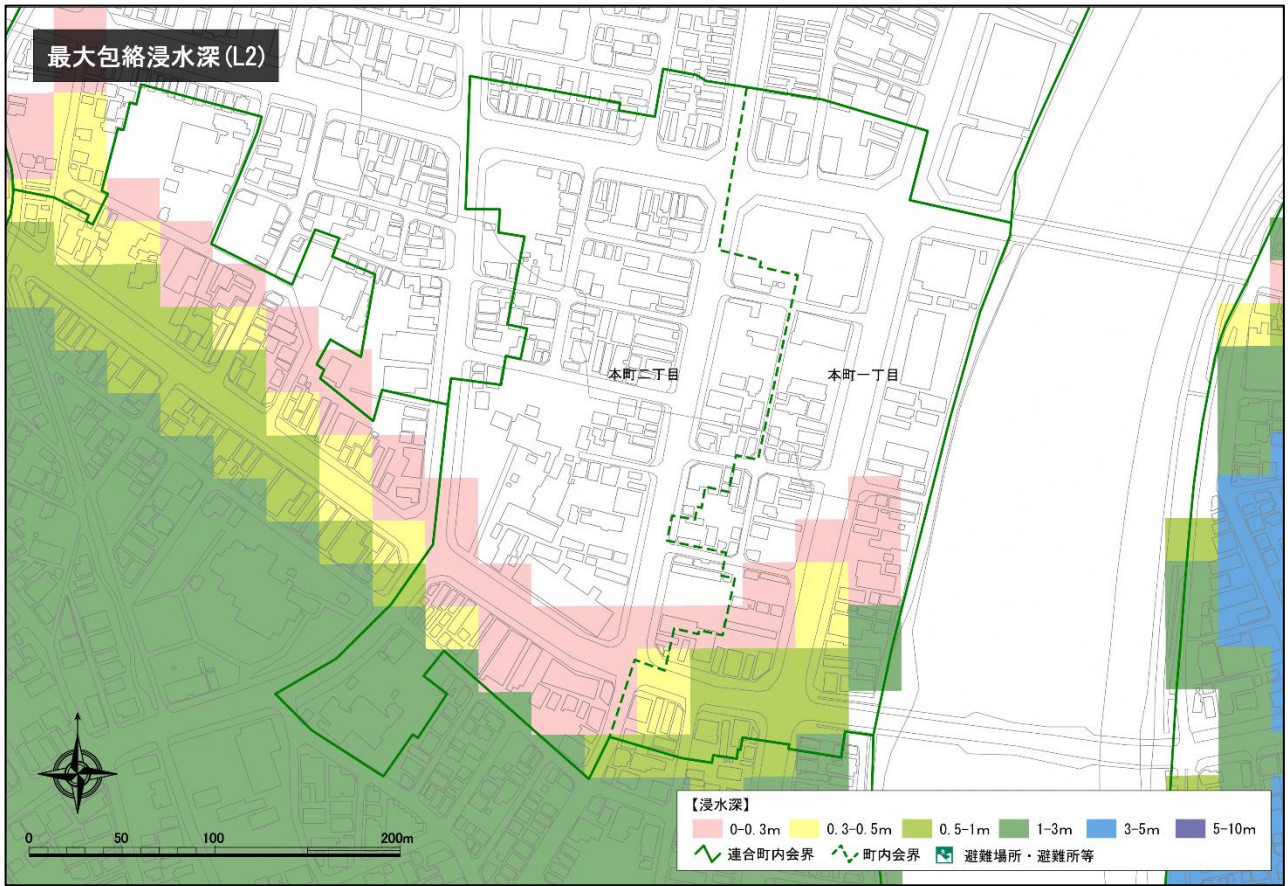


※3 平成22年度一級河川来光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書
 (3.水位周知/河川の基本事項の整理【基準水位の検討】)による住民の避難活動開始から避難完了までの時間=15分
 平成26年度狩野川危機管理計画検討業務 報告書
 (P.3.150 猶予時間設定の考え方 (沼津市))による住民避難の時間=40分

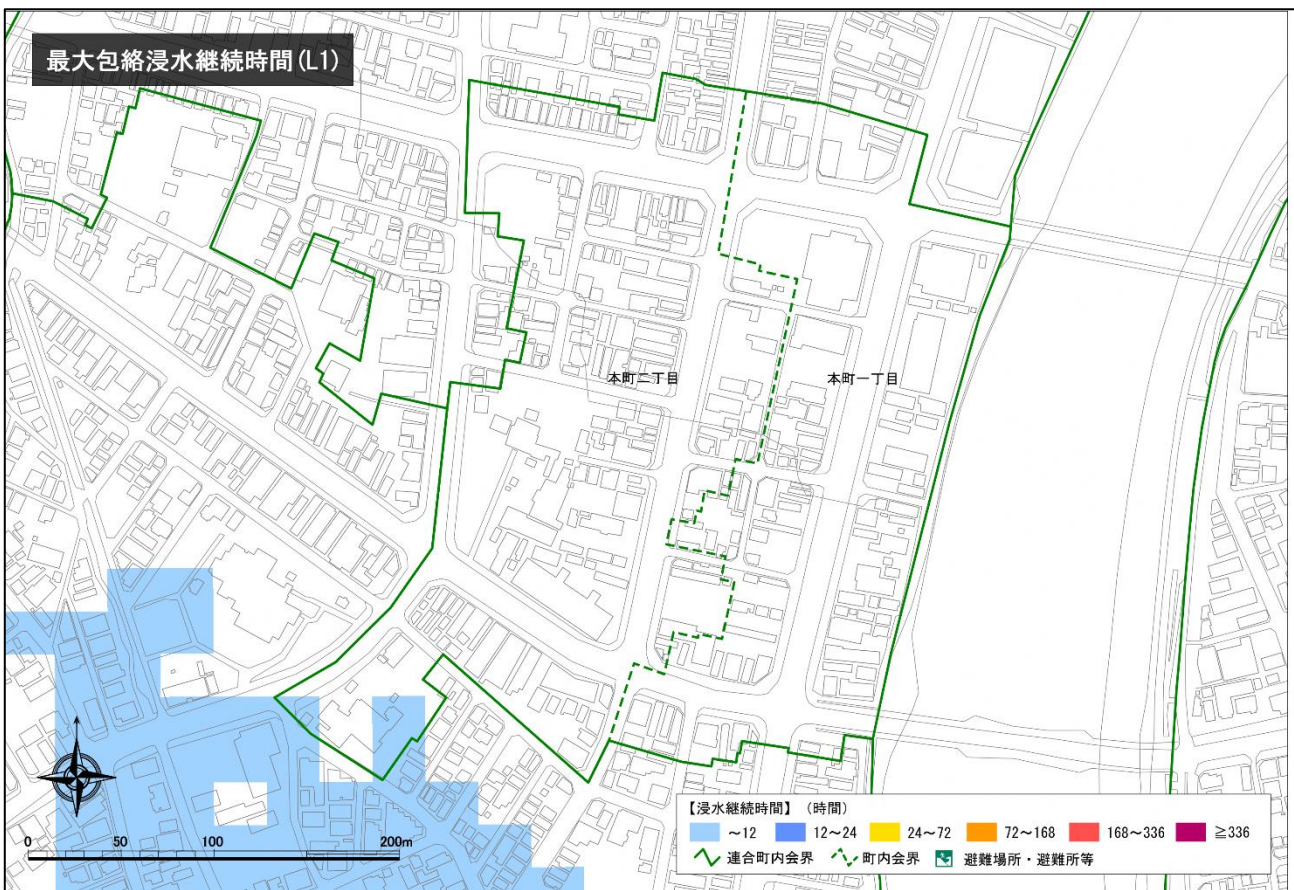
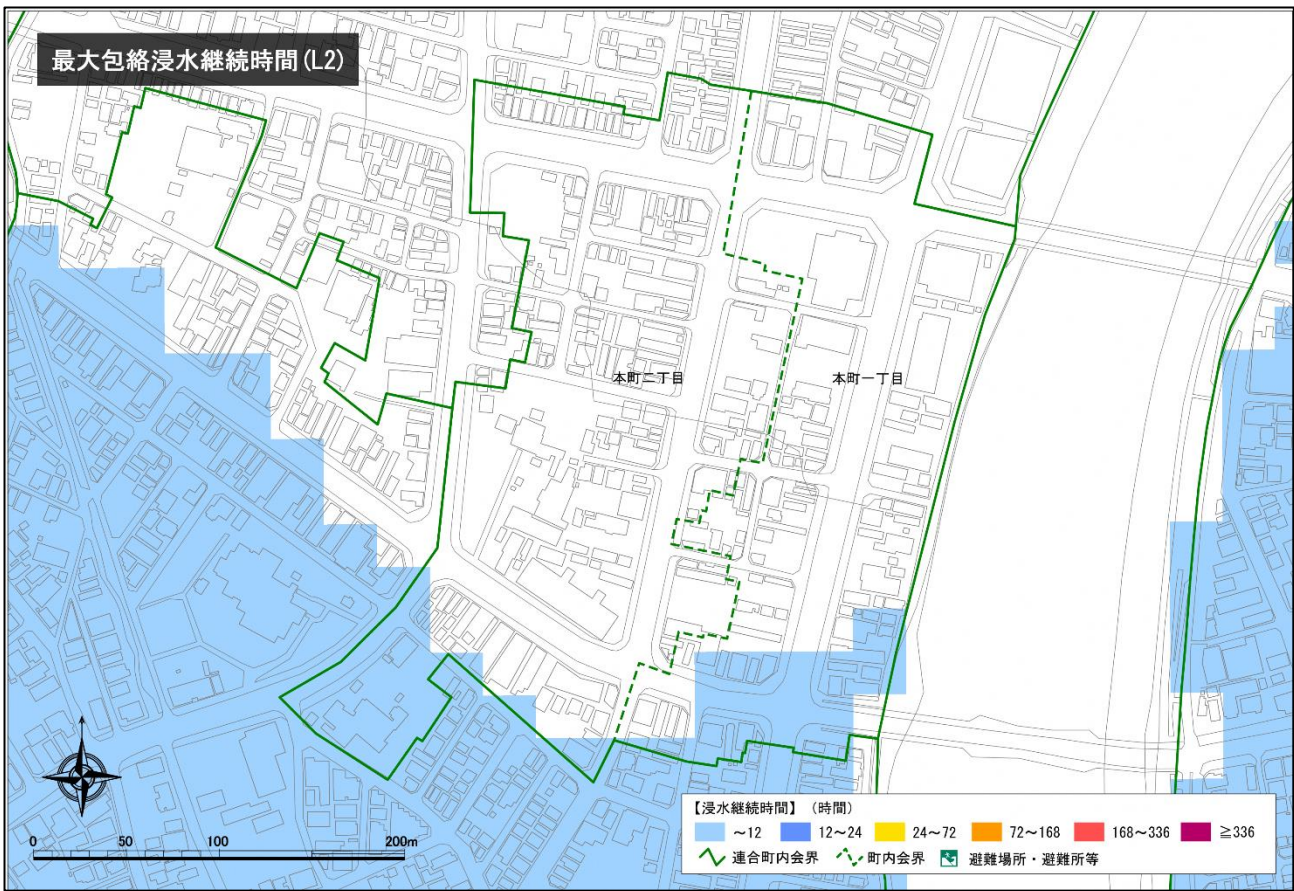
地形図で自宅の位置を確認してみよう



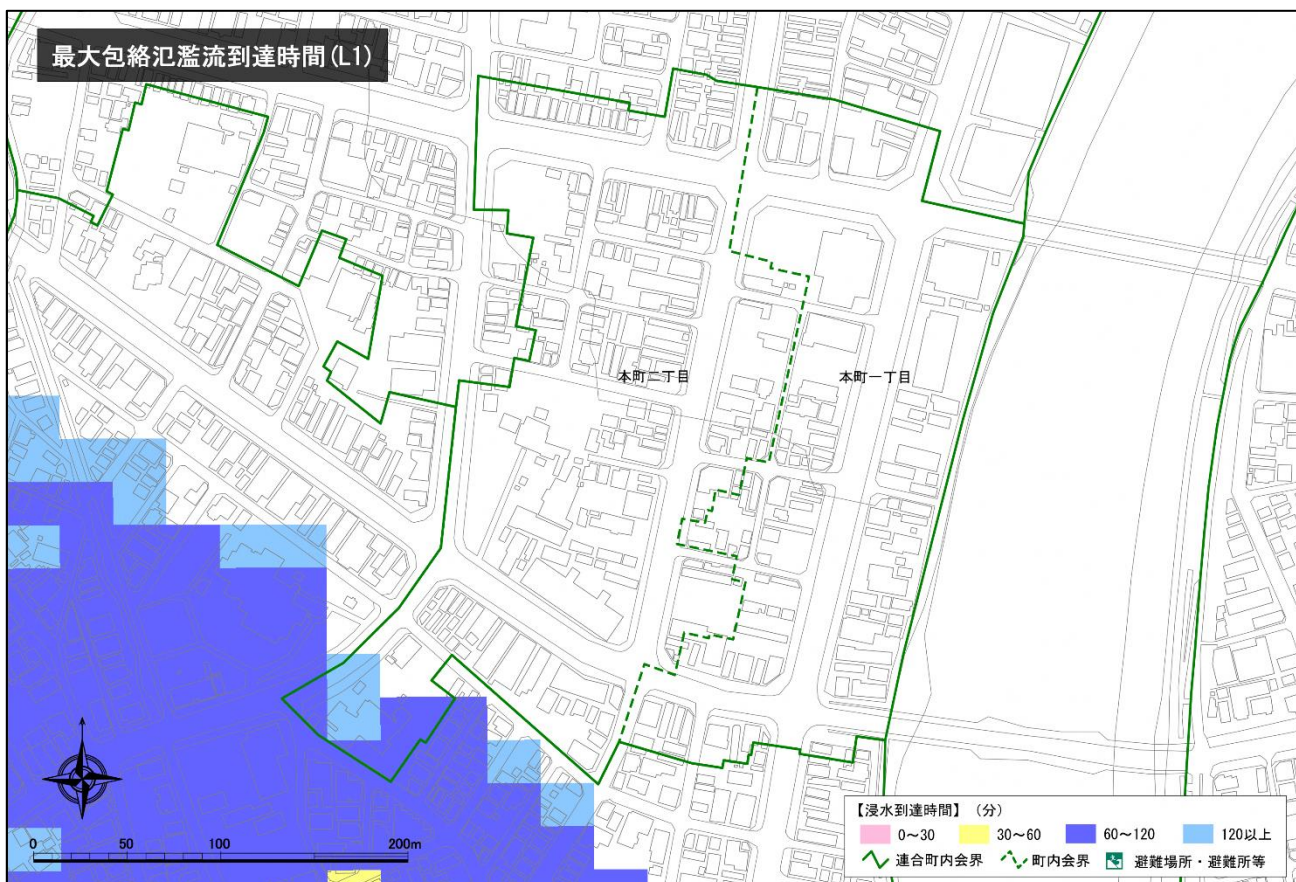
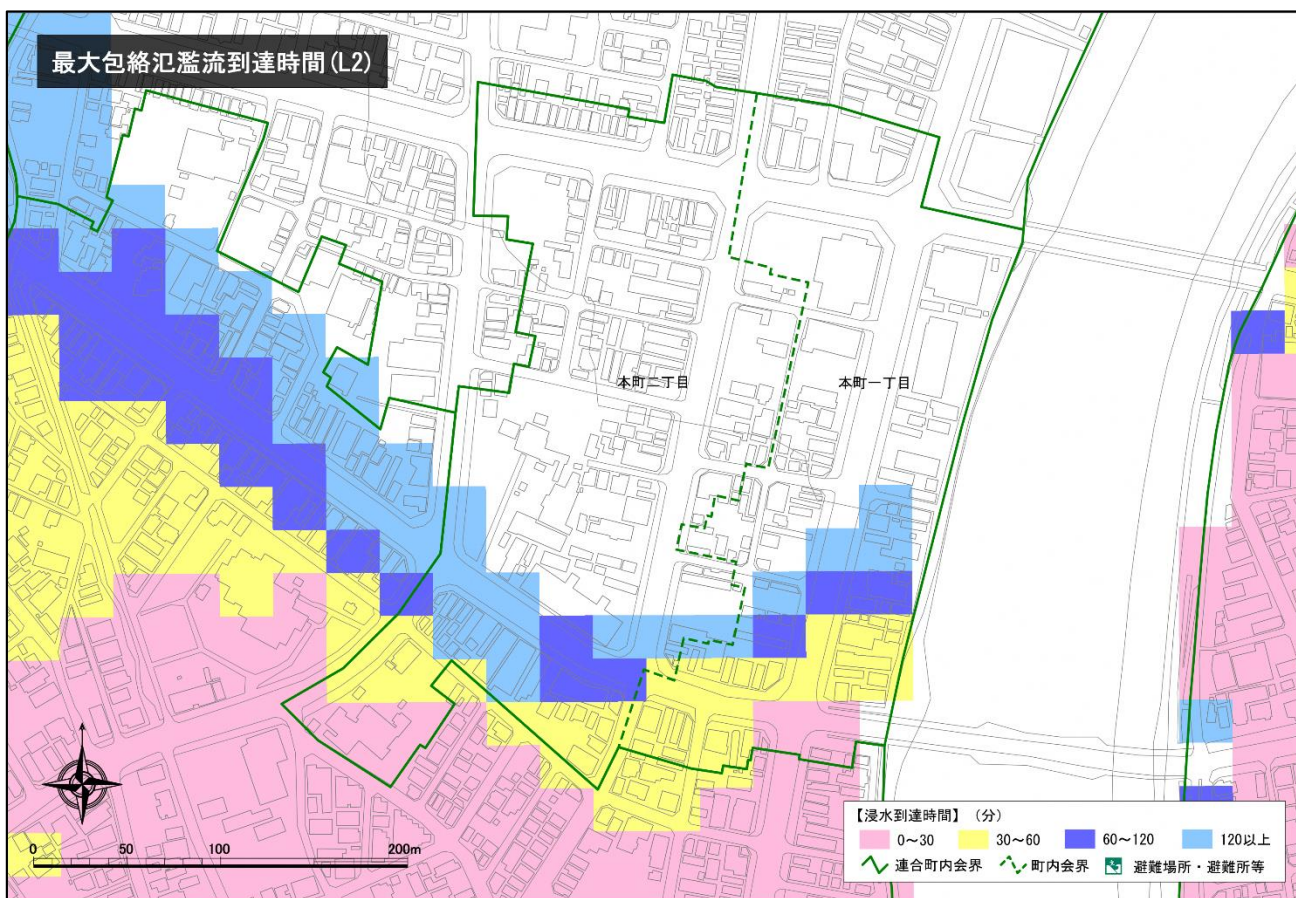
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



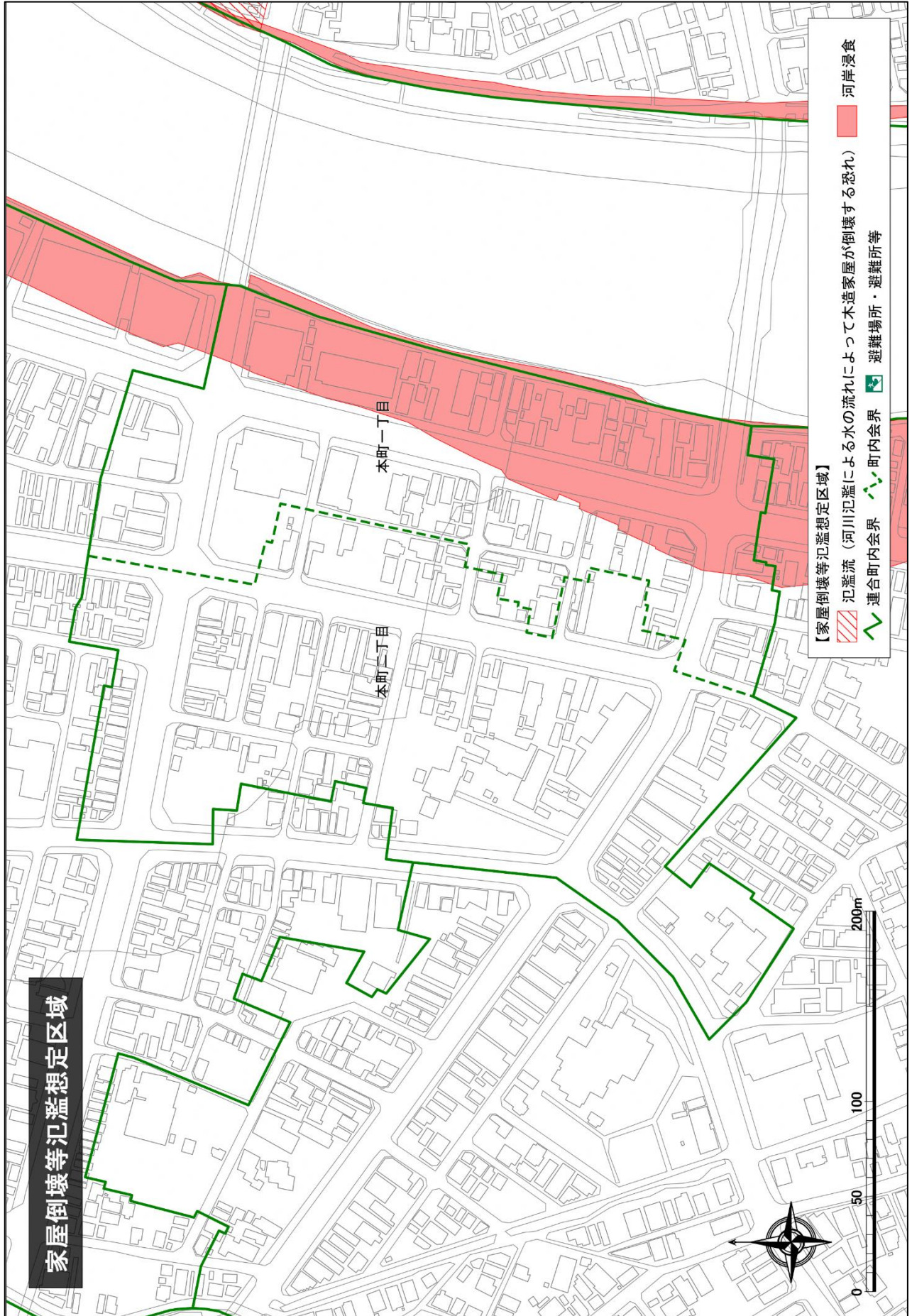
浸水継続時間を確認してみよう



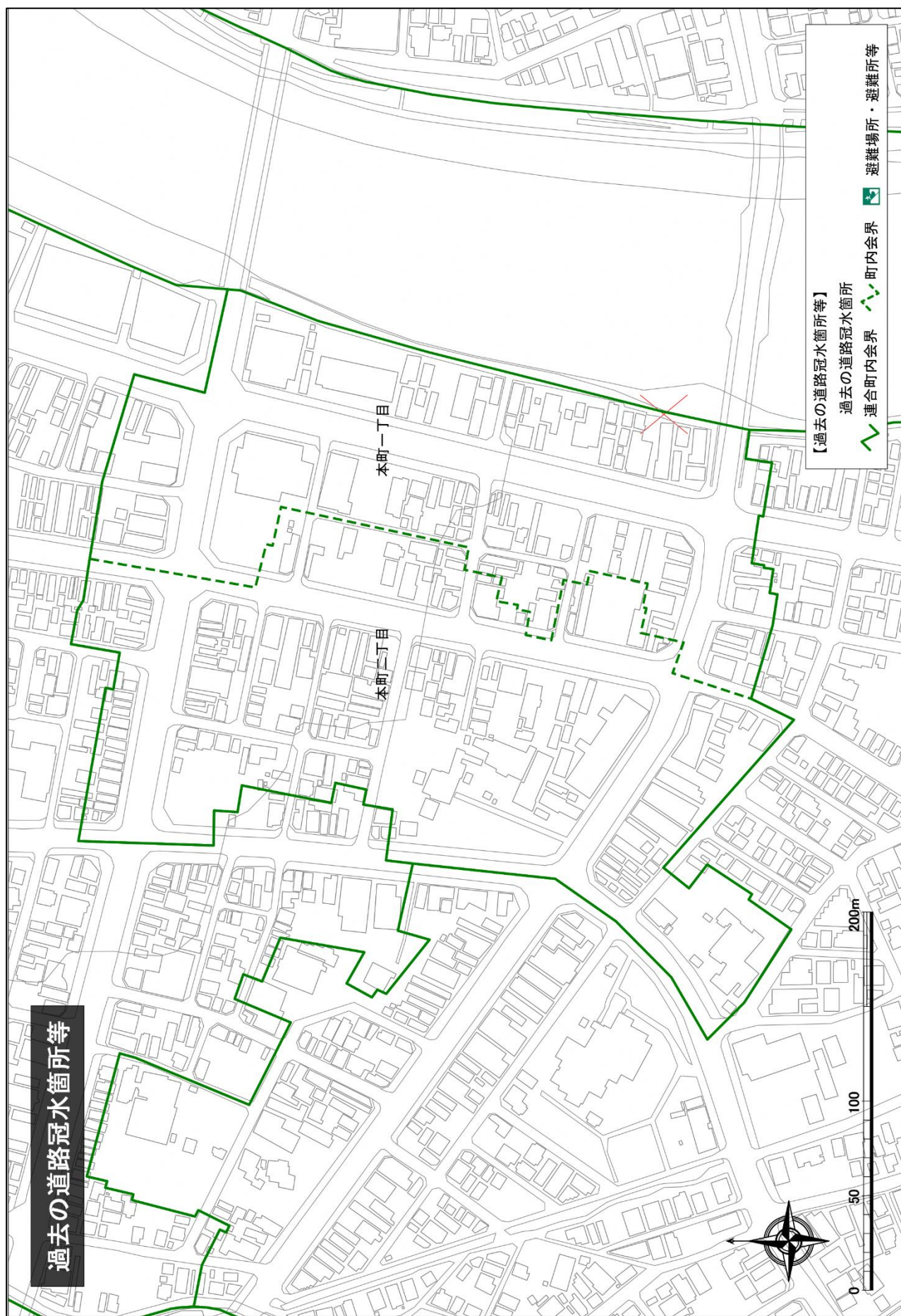
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

